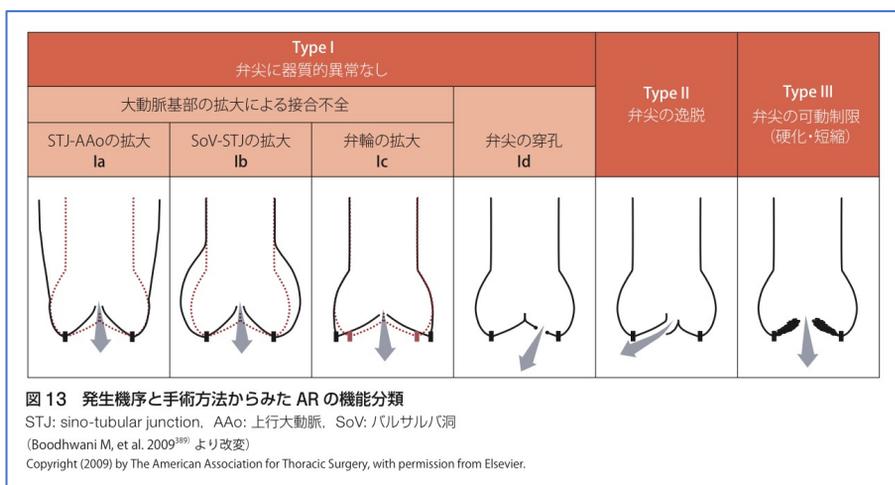
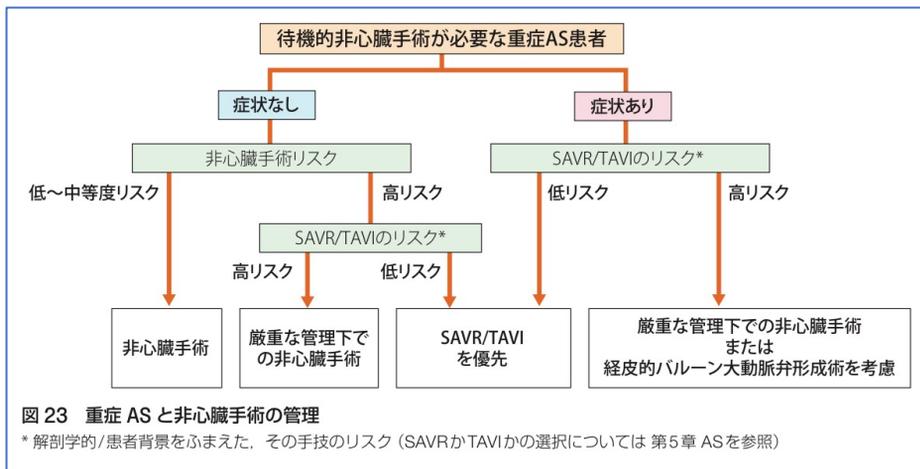
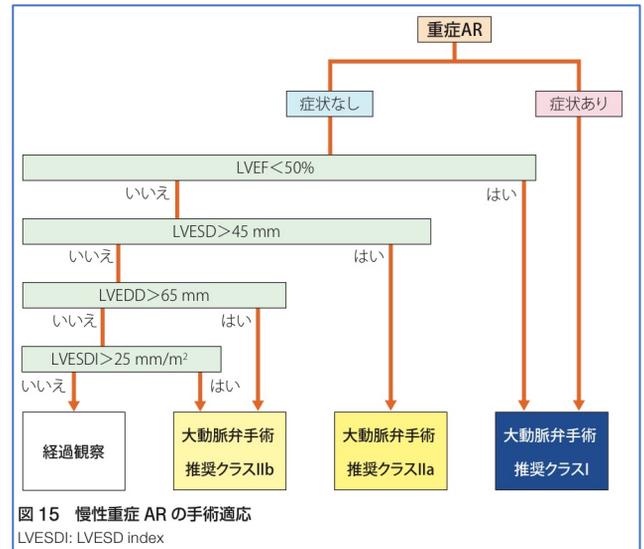
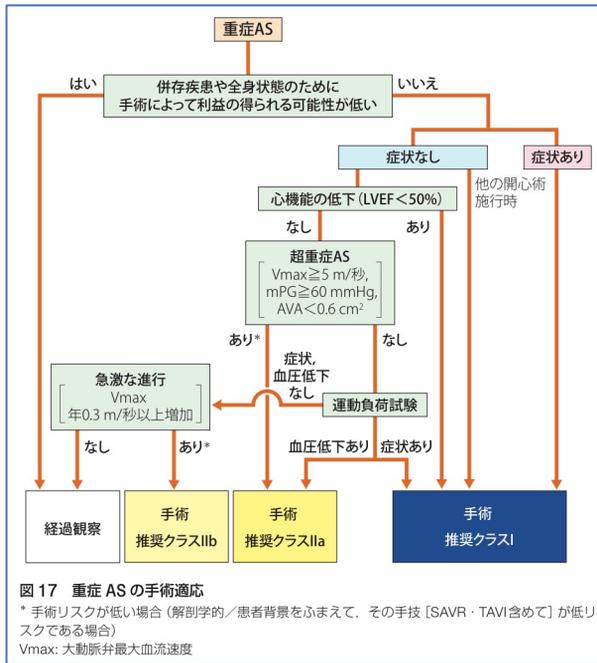
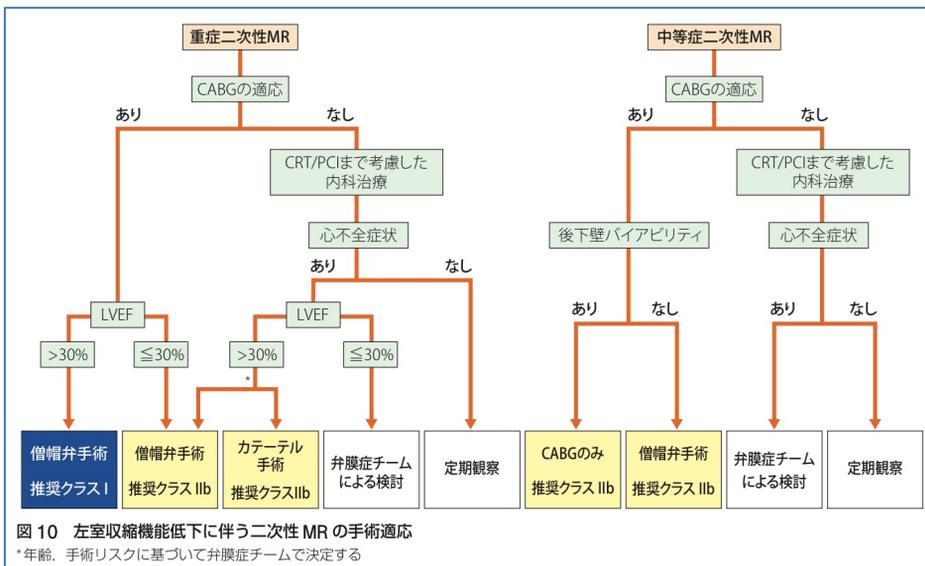
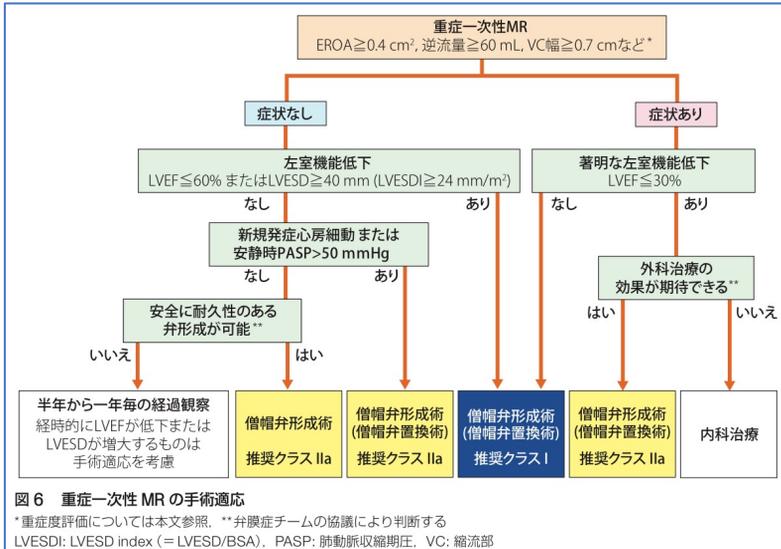
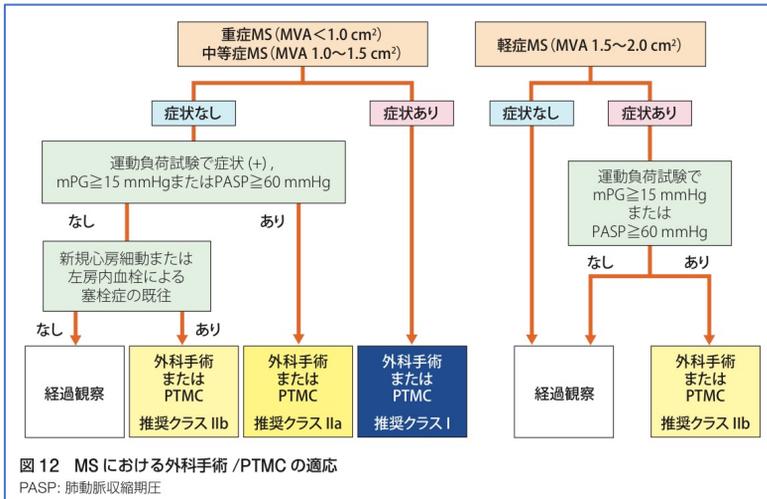


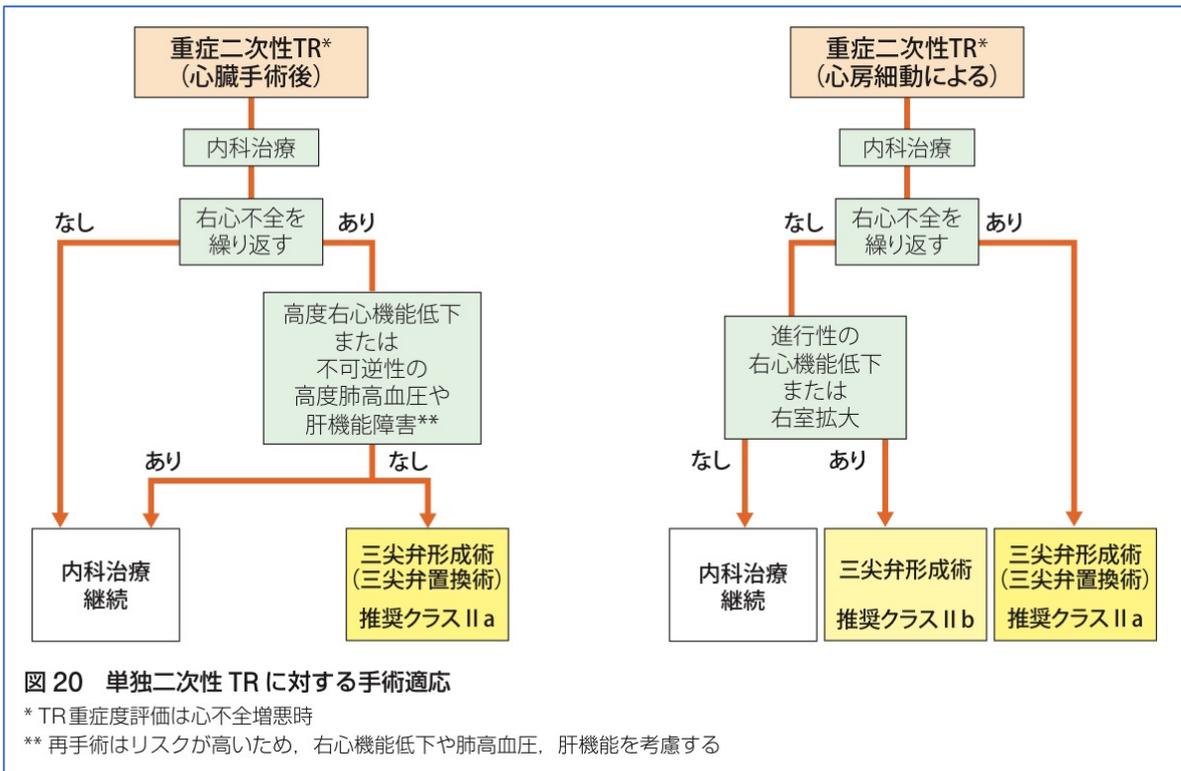
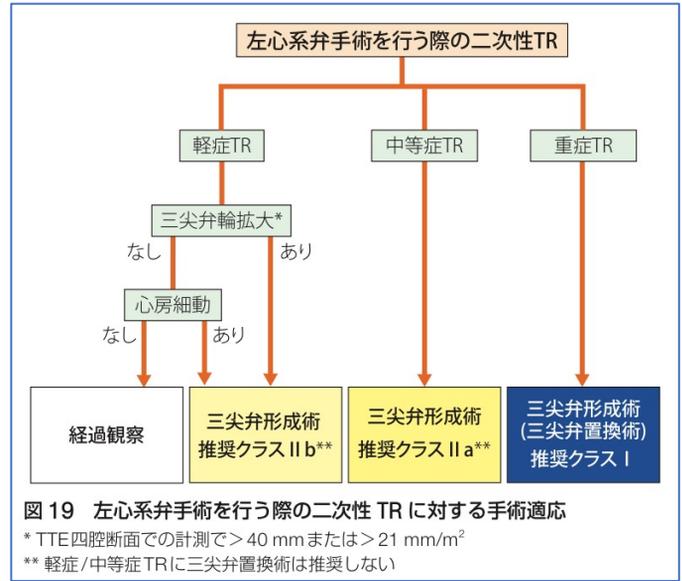
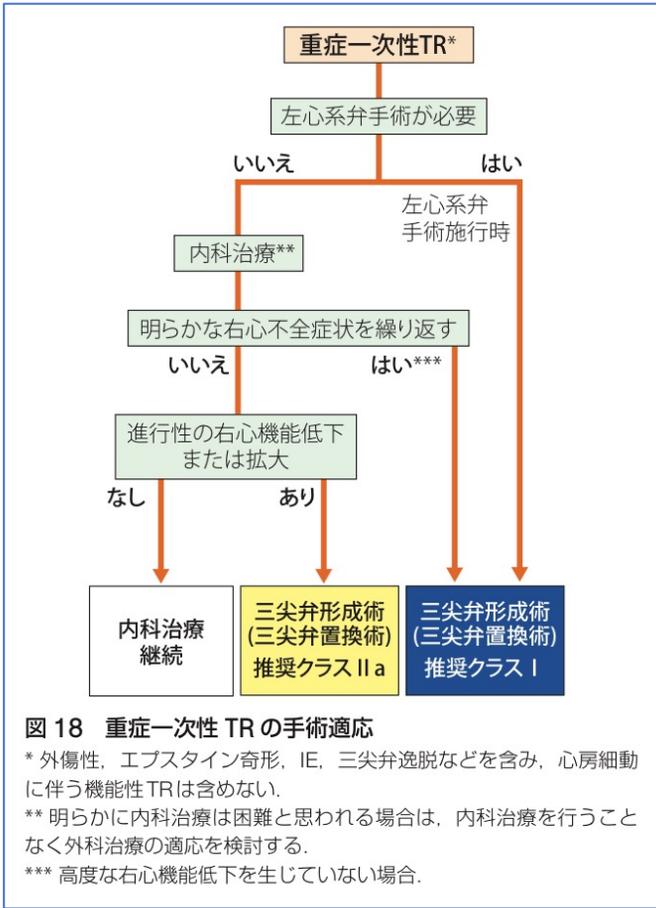
大動脈弁



僧帽弁



三尖弁



肺動脈弁

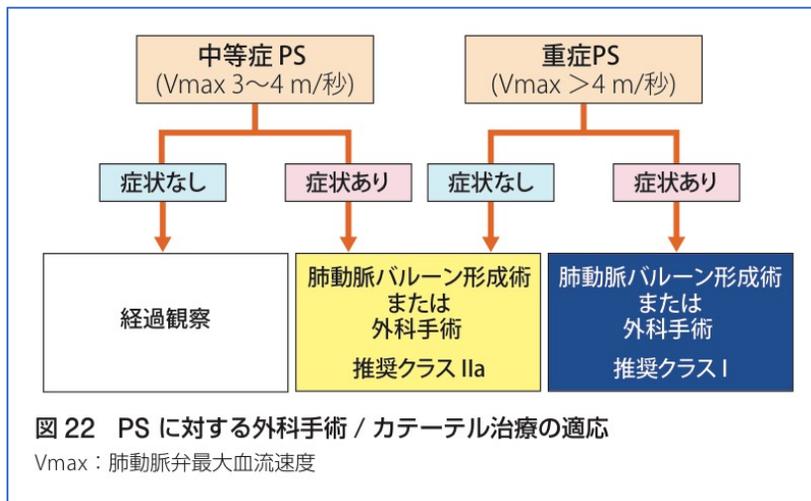


表 1 推奨クラス分類

クラス I	手技・治療が有効・有用であるというエビデンスがあるか、あるいは見解が広く一致している。
クラス II	手技・治療の有効性・有用性に関するエビデンスあるいは見解が一致していない。
クラス IIa	エビデンス・見解から有用・有効である可能性が高い。
クラス IIb	エビデンス・見解から有用性・有効性がそれほど確立されていない。
クラス III	手技・治療が有効・有用でなく、ときに有害であるとのエビデンスがあるか、あるいは見解が広く一致していない。

表 2 エビデンスレベル

レベル A	複数のランダム化介入臨床試験、またはメタ解析で実証されたもの。
レベル B	単一のランダム化介入臨床試験、または大規模なランダム化介入でない臨床試験で実証されたもの。
レベル C	専門家および / または小規模臨床試験（後ろ向き試験および登録研究を含む）で意見が一致したもの。